

「私の 歩んだ道」

山梨英和中学校・高等学校
スーパーサイエンスハイスクール



2014年度
第1回講演会

入 場
無 料

5月26^(月)日
14:00~15:30
コラニー文化ホール



大村 智

1935年 山梨県韮崎市生まれ
1963年 東京理科大学大学院理学研究科修士課程修了
(おおむら さとし) 東京大学薬学博士、東京理科大学理学博士

北里大学薬学部教授を経て 1990 年から 2008 年社団法人北里研究所所長。2008 年から 2012 年学校法人北里研究所名誉理事長。2013 年から北里大学特別荣誉教授。1997 年から 2003 年、2007 年から学校法人女子美術大学理事長を務める。

45 年余にわたり抗生物質など微生物の生産する天然有機化合物の研究を続け、470 種余の新規化合物を発見し、そのうち 26 種が医薬、動物薬、農薬および研究用試薬として世界中で使われている。特に、米国の製薬会社メルク社との共同研究で発見、開発したイベルメクチンは、現在 WHO の指導の下、重篤な熱帯病であるオンコセルカ症（河川盲目症）とリンパ系フィラリア症を撲滅するためにアフリカ等で年間 2 億 5 千万人以上に使われ、2020 年にはこれらが撲滅される見通しになっている。その他、我が国でも問題になる糞線虫症、疥癬症などにも優れた効果を示しており、人類の健康と福祉の向上に国際的に多大な貢献をしている。また、美術にも造詣が深く絵画の収集家としても知られており、郷里の山梨県韮崎市に女流作家の作品を常設する美術館を創り同市に寄贈、韮崎大村美術館館長も務める。

《受賞及び栄誉》

米国微生物学会ヘキストルセル賞、日本薬学会賞、上原賞、日本学士院賞、藤原賞、独国ローベルト・コッホゴールドメダル、米国化学会アーネスト・ガンサー賞、国際微生物連合アリマ賞、テトラヘドロン賞、仏国レジオン・ド・ヌール勲章、ガードナー国際保健賞、瑞宝重光章、平成24年度文化功労者等英国王立化学会会員、日本化学会等の名誉会員、日本学士院をはじめ、米、独、仏、ロシア、ベルギーおよび中国など多くの権威ある科学アカデミーの会員に選出されている。

毎年4万人の
失明を防ぐ
薬を生み出し
2億人以上を
病魔から守った
化学者

